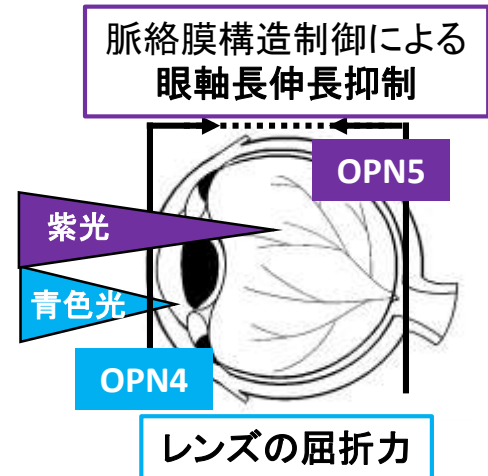
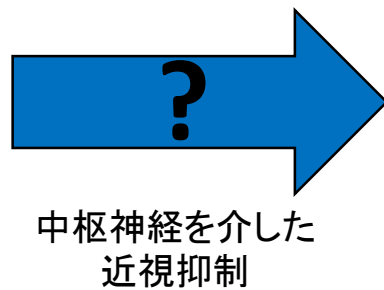
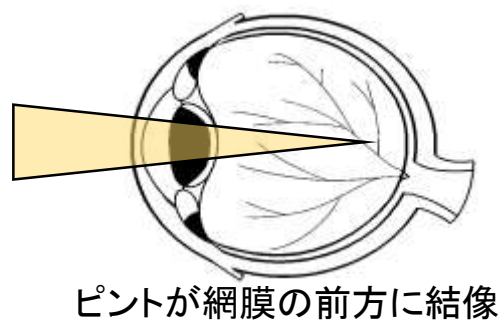


研究開発課題名：非視覚型オプシンによる光マルチセンシング機構の解明と光新規治療法開発

栗原 俊英（慶應義塾大学医学部、眼科学教室、准教授）

病的近視 眼軸長伸長 → 視覚障害 失明の原因疾患



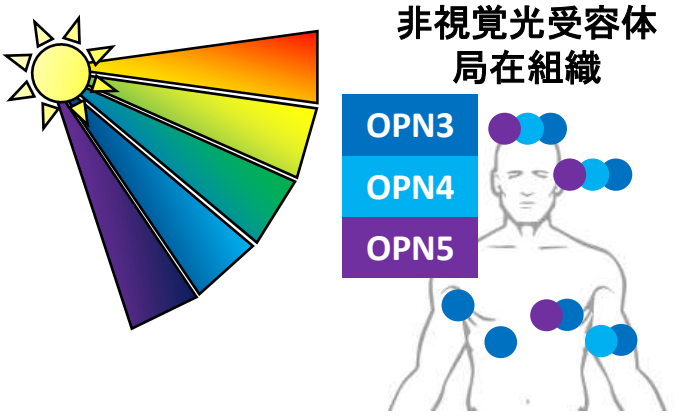
研究目的

- 新規近視予防・進行治療の開発に向けて
- 眼に存在する非視覚型オプシン (OPN3、OPN4、OPN5) が近視進行抑制に関与するかを検証
 - 光受容による眼を制御する神経回路の検証
 - オプシン活性/神経回路に介入する光以外のリガンドの探索・開発



期待される成果

New Paradigm
非視覚光受容体の発見
→ 眼以外の様々な細胞・組織で光を受容



しかし、
具体的メカニズムは不明
(光受容・シグナル伝達)



「光新規治療法」の開発と
光環境の最適化
→ QOLの維持・向上

